



2019年11月12日

各位

会社名 パーソルホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 CEO 水田 正道  
 (コード番号 2181 東証第一部)  
 問合せ先 取締役執行役員(財務担当) 関 喜代司  
 (TEL 03-3375-2220)

特別損失の計上に伴う 2020 年 3 月期第 2 四半期累計期間  
 業績予想と実績値の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020 年 3 月期第 2 四半期累計期間（2019 年 4 月 1 日～2019 年 9 月 30 日）において、特別損失を計上いたしました。特別損失を計上することにより、2019 年 8 月 1 日に公表いたしました 2020 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じました。また、通期（2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日）業績予想も修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 特別損失の計上について

2017 年 10 月に買収した豪州 PROGRAMMED 社の Staffing 事業は、豪州経済の低迷等を受けて、業績が計画を下回る見通しとなったため、国際会計基準(IFRS)に基づく減損テストを実施し、現在の事業環境を踏まえて将来の回収可能性を検討した結果、買収時に発生した「のれん」の減損損失 12,519 百万円を特別損失に計上しました。また、同社が合弁会社で運営する Marine 事業は、原油価格下落に伴いビジネスが低調となったことから、合弁会社投資有価証券と、合弁会社相手先に対する貸付金について、キャッシュフローの現在価値算定の結果、評価損および貸倒引当金の 1,724 百万円を特別損失に計上しました。

## 2. 2020 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想と実績値の差異および通期業績予想値の修正

2020 年 3 月期第 2 四半期累計期間（2019 年 4 月 1 日～2019 年 9 月 30 日）において、特別損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前回予想を大きく下回りました。また、通期連結業績につきましても、第 2 四半期累計期間の特別損失を受けて、業績予想を修正いたします。

(1) 第 2 四半期累計連結業績予想数値（2019 年 8 月 1 日公表）と実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	482,500	20,800	20,800	9,600	41 円 12 銭
今回実績値 (B)	478,956	20,116	20,429	▲5,177	▲22 円 20 銭
増減額 (B-A)	▲3,543	▲683	▲370	▲14,777	-
増減率 (%)	▲0.7	▲3.3	▲1.8	-	-
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2019 年 3 月期第 2 四半期累 計期間)	452,260	20,453	20,660	11,987	51 円 39 銭

(2) 通期連結業績予想（2019年8月1日公表）の修正

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	990,000	43,000	43,000	21,700	92円95銭
今回修正予想（B）	980,000	40,700	40,800	5,500	23円58銭
増減額（B－A）	▲10,000	▲2,300	▲2,200	▲16,200	-
増減率（%）	▲1.0	▲5.3	▲5.1	▲74.7	-
（ご参考）前期連結業績 （2019年3月期）	925,818	44,111	43,982	24,361	104円39銭

以上